



2019年度第2期『人権に関わる相談担当者等スキルアップ講座』

2 期	開催日	10月24日(木)	12月18日(水)
	分野	子どもの人権	インターネット
	午前の部 10:00～12:00	講座名 子どもを虐待から守るためにできること ～子どもの権利の視点から考える～	インターネットと人権 ～ネットを通して明らかになる差別の現実と課題解決に向けた取組～
	講師	子どもの虐待防止ネットワークしが 理事 元滋賀県家庭相談員 久保 宏子(くぼ ひろこ)	公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長 松村 元樹(まつむら もとき)
内容・講師紹介など	<p>◆子どもが虐待で傷ついて亡くなってしまふような事件の報道が後を絶ちません。子どもと家庭を支援する関係機関・関係者は、子どもを守る地域ネットワークを構築し、日々虐待防止に懸命に取り組んでいるにもかかわらず、なぜ同じことが繰り返されるのか。参加者自身のできることをともに考える機会としましょう。</p> <p>◆旧八日市市青少年カウンセラーを経て、滋賀県家庭相談員として約30年間にわたって子ども家庭相談に携わる。子どもと家族、関係者等を支援するとともに、市町村の児童虐待防止ネットワーク、要保護児童対策地域協議会の構築・機能強化を支援してきた。現職時から子どもを守る民間団体の立ち上げに関わり、現在は社会福祉士として、「子どもの虐待防止ネットワーク・しが(通称キャブネス)」「CAP(子どもへの暴力防止)滋賀」等の民間活動を中心としている。</p>	<p>◆数千万人が利用するSNSでは、現代社会が抱えるさまざまな社会矛盾や差別の現実を活字や映像などで「可視化」しており、デマやフェイクニュースも深刻化するなかで、極めて多くの人々に影響を与えています。実社会から生じる差別が、ネット上でどのように行われているのか、その解決に向け、どのような動きが広がってきているのかを紹介し、こうした差別を内包する社会を生きる私たち一人ひとりが、結果として差別に加担し容認しないためにも、どのような視点をもつ必要があるかなどを問題提起します。</p> <p>◆1981年 生まれ。伊賀市出身。 ・(一社)部落解放・人権研究所「第6部落差別調査研究部門」研究員 ・(公社)三重県人権教育研究協議会 理事 ・三重県いじめ調査委員会 委員 ・NPO法人いが創造塾 理事長 ・現在 (公財)反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長</p>	
分野	女性	部落問題	
午後の部 13:30～15:30	講座名 自立とエンパワーメントのための相談とは ～女性の悩みとその対応～	部落差別解消推進法を学ぶ	
講師	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 事業課 相談係 北川 智代(きたがわ ちよ)	近畿大学人権問題研究所 特任教授 奥田 均(おくだ ひとし)	
内容・講師紹介など	<p>◆女性の抱える悩みは、性や家族などと深くかかわっています。相談者の悩みを受けとめながら問題を整理し、その人自身の気づきを助けることで最終的には自ら問題解決へ向かうための力を引き出す援助について考えます。講師派遣事業「フレンテトーク」のDV・デートDVプログラムの講師として、県内中・高等学校、大学、教職員、行政職員ほか、県民対象に多数講演を行っている。</p> <p>◆講師紹介 (公財)三重県文化振興事業団 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」事業課相談係 年俸制専門員</p>	<p>◆2016年12月に部落差別解消推進法が制定された。この法律の背景・内容には、人権問題に取り組むに際しての重要な内容が満載である。同法を手掛かりに、人権行政や活動を担うにあたっての基本認識を考えたい。</p> <p>◆講師紹介 1952年 生まれ。関西大学文学部教育学科卒業。関西外国語大学教員などを経て、現在、近畿大学人権問題研究所特任教授。博士(社会学)。</p>	